

令和7年度事業計画書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

当財団は令和3年度から令和7年度まで、川口総合文化センターの管理運営に係る指定管理者の指定を受け、開館以来培ってきた実績と経験を最大限活かし、優れた舞台芸術作品の提供や、市民の芸術文化活動の支援に関する取組みを継続的に実施しており、効率的な運営を図るため経営に関する改革にも取り組んでいる。

令和7年度においては、今年度に引続き川口総合文化センター大規模改修工事により休館のため、川口市役所西川口駅前分室を仮設事務所とし、市内外の施設を利用した事業や、チケットの販売業務を実施するほか、川口総合文化センターのリニューアルオープンに向け準備を行う。

【当財団独自の事業展開】

各種文化催事を企画・実施し、芸術文化の振興を図る事業を行うとともに、文化芸術及び地域コミュニティ活動の振興を図る事業を実施する。

【文化創造・育成事業の実施】

青少年による主体的な芸術文化活動を促進し、川口市の芸術文化を支える裾野を拡大することを目的に、平成2年7月の施設開館時に「川口少年少女ミュージカル団」を結成。現在は、小学3年生から高校生までの33名が在籍し、発表会等に向けて、週3回程度、演技、歌、ダンス、タップダンスの練習に励んでいる。

リリア休館中においても、川口市内公民館等の施設を活用し活動を継続する。

1 舞台芸術作品の提供等に関する事業

(1) 自主企画公演等の実施

財団が様々な芸術家及び芸術文化団体との協働により、創造的で質の高い芸術文化事業の提供を行う。

① 埼玉会館 (1事業1公演)

1月のニューイヤーコンサートは、リリア開館以前から川口市の主催により市民会館で実施されていた「川口市民音楽会」を継承するもので、オーケストラによる名曲プログラムを実施し、毎年好評を博している。今年度に引続き来年度も、県内施設である埼玉会館に会場を移し実施する。

② フレンディア （4事業4公演）

JR 川口駅東口の川口駅前市民ホール、フレンディアにて低廉な価格で気軽に楽しめるコンサートを実施する。

「カテリーナ バンドゥーラ・コンサート」は、ウクライナ出身で自国の民族楽器バンドゥーラの奏者カテリーナが、ウクライナの民謡や日本の歌曲を演奏する。

「琵琶と講談 続・怖い話」は、夏の風物詩である「怪談」を琵琶の弾語りと講談を楽しむ納涼企画として今年度実施し、好評を得て第2弾として実施する。「小松亮太の川口タンゴ・カフェ vol.2」は、今年度に続きアルゼンチンタンゴ界の第一人者、バンドネオン奏者の小松亮太に、協演者を迎え実施する。「川口第九を歌う会～フレンディアで歌う～」は、毎年12月にリリアで開催され恒例となっている「リリア第九演奏会」に出演の川口第九を歌う会のメンバーによるコンサートで、今年度同様ピアノ伴奏で実施する。

③ フェリーチェ （1事業2公演）

JR 蕨駅東口（川口市）のフェリーチェ音楽ホールにて、低廉な価格で気軽に楽しめるコンサートを実施する。

「宮谷理香ピアノサロン in フェリーチェ」は、ピアニスト宮谷理香の演奏とお話によるもので、テーマを決めたシリーズコンサートとして、毎年リリアの催し広場で実施し好評を博しており、会場をフェリーチェに移し実施する。

④ 公民館 （1事業2公演）

「公民館リレーコンサート」は、川口市内の郊外に位置する公民館を利用し、同一内容でのコンサートを全2回で企画し、巡回公演として実施する。出演者は、今年度実施し好評を得た伴真純によるコンサートを予定している。

⑤ 川口市立高等学校附属中学校 （1事業1公演）

アウトリーチプログラムとしてヴァイオリンの神谷未穂、礒絵里子を予定しており、良質な音楽に触れることで感性を磨き、心の豊かさを育む機会を提供することを目的に学校への出張コンサートを実施する。

(2) 特別文化推進事業の実施

本市の芸術文化活動の拠点としての存在を広くアピールし、幅広い世代に芸術文化の体験機会を提供することを目的に、教育・啓発プログラム等の事業を入場無料または低廉な価格で実施するもので、フレンディアで2事業を実施する。

「0歳児からのワンコイン・コンサート」はアルパ奏者の藤枝貴子、アルパ奏者・メゾソプラノとして活躍する池山由香と、リトミック講師で小学生への打楽器アンサンブルの指導者としても活躍するパーカッション奏者のすずきあゆみによる0歳児から参加できる親子を対象としたワンコイン・コンサートとして実施する。

また、「ポジティブ・オルガンによる オータムコンサート」は、小型の持運び可能なポジティブ・オルガンをフレンジアに持込み、入場無料のコンサートを実施する。

(3) 広報・宣伝等

① 財団情報誌「リリアプレス」の発行

財団の主催する公演や活動内容などを紹介する情報誌「リリアプレス」を隔月で16,000部発行し、行政機関・教育機関・自治会・企業等、約5,000箇所を送付し、事業の周知ならびにチケット販売促進や集客につなげる。

② 財団ホームページの活用

財団ホームページに催事情報を掲載し、財団主催・共催事業のチケットの予約をウェブ上で行えることで利用者の便宜を図る。また、随時SNSでの情報発信を行う。

③ アンケートの実施

文化事業について、公演時にアンケート用紙を配布するほか、財団ホームページのアンケート入力フォームを作成するなど、お客様からのご意見を財団の運営に生かすべく実施する。

④ その他

広報かわぐちへの情報掲載、チラシの配布、音楽専門誌や新聞への広告宣伝の掲載等を行うなど積極的に情報発信し、事業をPRする。

(4) メンバーズ事業

財団主催・共催事業のチケットの優先予約や割引販売を行うことにより、顧客の定着化とチケットの販売促進を図る。

会員数：2,481人（令和7年1月末日）

なお、施設の休館に伴い、新規入会については受付を停止している。

(5) 共催事業の実施

市民等に対し、幅広く様々な舞台芸術作品の鑑賞の機会を提供するため、芸術文化

団体等が埼玉県内の文化施設等で実施する公演に対し、その内容を検討のうえチケットの受託販売を名義共催と位置付け文化振興を図る。

【予定される共催事業】

野村萬斎 狂言の夕べ 上尾公演（あげお富士住建ホール）、稲垣潤一 CONCERT 2025（大宮ソニックシティ） ほか

2 芸術文化に係る事業を推進するための付帯事業

利用者の便宜を図るため付帯事業を実施する。

① チケットセンターの設置

財団主催・共催事業のチケットの販売、ならびに他会場のチケット販売を受託する。

② 文化事業に伴う物品販売

3 助成・補助事業

文化活動支援事業（応募型）として、リアで利用実績のある川口市内の学校に対し、文化活動を行う会場の施設利用料の一部を助成することにより地域文化の振興を図る。

4 公益比率の目標（公益認定の基準）

公益認定法第5条第8号にもとづき、令和7年度の公益比率を81.8%とし、公益財団法人としての役割を果たす。（別紙のとおり）

公益目的事業比率 81.8%

公益目的事業 文化振興事業 自主公演・共催事業・文化活動助成・ミュージカル団育成
 地域振興事業 会議室・ホール等の貸出のうち、公益性があると認められたもの

収益目的事業 施設貸与等事業 駐車場・会議室・ホール等の貸出
 利用促進事業 イベントサービス・自動販売機・公衆電話利用料

経営収支

	公益目的事業				収益目的事業				法人	総合計
	文化振興事業	地域振興事業	共通	小計	施設貸与等事業	利用促進事業	共通	小計		
経常収益	237,393,000	2,825,000	0	240,218,000	1,215,000	2,432,000	1,000	3,648,000	66,566,000	310,432,000
経常費用	304,123,000	4,371,000	0	308,494,000	1,858,000	65,000	1,000	1,924,000	66,982,000	377,400,000
経常増減額	△ 66,730,000	△ 1,546,000	0	△ 68,276,000	△ 643,000	2,367,000	0	1,724,000	△ 416,000	△ 66,968,000
事業比率	80.6%	1.2%	0.0%	81.8%	0.4%	0.0%	0.0%	0.5%	17.7%	100.0%